

## 愛知生活保護裁判勝利めざす全国大決起集会 決議

本日、私たちは名古屋に集い、全国大決起集会を開催し、生活保護基準引き下げに対して断固としてたたかう決意を固め合いました。集会では、ビデオメッセージを含む全国各地の仲間の声が披露され、また多くの国会議員の皆さまからの温かい応援メッセージが紹介されました。

自民党の総選挙公約に合わせる形で「物価の偽装」まで行ない、2013年からの3年間で平均 6.5%、最大 10%も生活扶助基準を引き下げた暴挙を、私たちは見過すことはできません。

私たちには、全国 29 都道府県でたたかう 1000 名以上の原告と、それを支援する仲間、弁護団がいます。この訴訟を支える 300 名を超える弁護士は、裁判の争点ごとに分担し、連携して周到に準備を重ねて、訴訟を進めています。各地の訴訟では、原告側の弁論に対し、被告側はまともに反論できない状況です。

集会参加のみなさん。

2014 年の名古屋地裁への提訴から 5 年。名古屋地裁での裁判は大詰めを迎えています。9 月、10 月には重要な証人尋問・原告本人尋問が実施され、社会保障審議会の基準部会の議論も無視し、厚労省が「物価の偽装」により保護費を引き下げたことがあらためて浮き彫りになりました。

名古屋地裁では来年 1 月末に結審し、4 月に判決が見込まれています。これは今回の集団訴訟で、全国初の判決となります。必ず勝って、不当な生活保護引き下げ処分を撤回させましょう。

そのためにも、名古屋地裁での訴訟を支援するとともに、全国各地で積極的に地域に出て、物価の偽装というトリックを使った事実をさらに広げましょう。また、生活保護基準が生活保護世帯だけでなく、多くの住民のくらしや制度利用に影響することを知らせ、世論を変えていきましょう。

私たちは仲間とともに、さらに共同を広げ、裁判勝利に向けてたたかいます。以上、決議します。

2019 年 11 月 16 日

### 【主催団体】

生活保護基準引き下げ反対愛知連絡会

生存権訴訟愛知弁護団

いのちのとりで裁判全国アクション

生活保護基準引き下げに NO！全国争訟ネット